

外来診療担当医師表

令和5年10月～

時間	診察室	曜日	月	火	水	木	金	土
午前	診察室 1			整形リハビリ科 河野 (10:30迄)	一般・糖尿病内科 にしだ 西田	整形リハビリ科 まつもと 松元 (10:30迄)		整形リハビリテーション科 熊本大学病院 整形外科医師
	診察室 2	一般内科 副院長 まつだ 松田	一般・糖尿病内科 副院長 いさみ 勇	一般・糖尿病内科 副院長 いさみ 勇	一般・消化器内科 内科部長 とよだ 豊田	一般内科 副院長 まつだ 松田	(1・5週) ほりお 堀尾 (2週) ふくしま 福嶋 (3・4週) いちやす 一安	呼吸器内科
	診察室 3					脳神経内科 脳神経内科部長 よねもち 米持		一般・糖尿病内科 代謝内科担当医師
	診察室 5	一般・消化器内科 診療部長 さとう 佐藤	呼吸器内科 えびはら 蛭原	呼吸器内科 えびはら 蛭原	呼吸器内科 えびはら 蛭原			
	診察室 7	一般・糖尿病内科 院長 うえはら 上原	一般・糖尿病内科 院長 うえはら 上原		一般・糖尿病内科 院長 うえはら 上原	一般・糖尿病内科 院長 うえはら 上原		
	診察室 1	一般・消化器内科 消化器内科部長 かい 甲斐原		一般・糖尿病内科 にしだ 西田 (16:00迄)		一般・消化器内科 総院長 いけ 池井		外来診療時間 午前診療 9:00～12:30 (受付は12:00まで) 午後診療 13:30～17:30 (受付は17:00まで) ※土曜日は午前診療のみ ※なお、急患はこの限りでは ございません。
	診察室 2	呼吸器内科 いちやす 一安 (14:00～16:00)	一般・消化器内科 内科部長 とよだ 豊田	一般・消化器内科 診療部長 さとう 佐藤	一般・糖尿病内科 副院長 いさみ 勇	脳神経内科 脳神経内科部長 よねもち 米持		
診察室 3			脳神経内科 脳神経内科部長 よねもち 米持					

※内視鏡外来(月～金曜の午前・完全予約制)(緊急時を除く)

訪問診療 (午後)	よねもち 米持 とよだ 豊田	うえはら 上原	いさみ 勇 さとう 佐藤	うえはら 上原 よねもち 米持	うえはら 上原 まつだ 松田
内視鏡	とよだ 豊田	さとう 佐藤	とよだ 豊田	かい 甲斐原	とよだ 豊田

予約の状況や
検査・処置等により、
順番が前後したり
時間がかかる
ことがあります。
あらかじめ
ご了承ください。



くまもと成仁病院



〒861-8041 熊本市東区戸島2丁目3番15号
電話 096-380-7011
FAX 096-380-9223
ホームページ <https://seijin-kumamoto.or.jp>

第54号 だより
発行日
令和5年12月1日



R5.10/15 開催
第22回 歩いて学ぶ 糖尿病ウォークラリー in 熊本

お問い合わせは くまもと成仁病院 (外来受付) Tel.096-380-7011

お知らせ 詳細につきましては当院総務部までお問い合わせください
(お問い合わせ先 総務課 ☎096(380)7011)

毎年年末に地域の皆様と一緒に実施しておりました「BCP訓練(災害時等事業継続訓練)」を本年も12月に開催予定にしております。地域住民の方々をはじめ、介護施設やサービス事業所等の職員さんとも協働しながら実施致しますので、皆様のご参加・ご協力よろしくお願い致します。日時につきましては、決まり次第お知らせ致します。

編集後記

コロナ感染症対応も5類に移行したことで、地域活動や様々な病院同士の連携会議なども含め、多くの催し物がコロナ前の状況に戻って来ているのを感じています。当院も今まで以上に「地域貢献」を意識した活動に積極的に取り組んでおりますので、この「成仁病院だより」でもドンドンご紹介して参ります。今後もご一読頂ければ幸いです。



目次

- 院長挨拶、法人理念・基本方針 2
- 退院時アンケート集計結果報告 3
- 長嶺中ナイスライ(職場体験)報告 3
- SDGs活動 各サークル紹介 4～5
- 各委員会・部会報告 …… 6
健康教室・糖尿病専門部会・SDGs委員会
- びたみん通信 …… 7
- 薬のよかハナシ …… 7
- 外来診療担当医師表、お知らせ他 8



理事長・院長
上原 昌哉

ごあいさつ

令和5年9月20日から始まりました、今年秋からの新型コロナのワクチン接種のポイントをまとめました。

まず国は、生後6か月以上で希望するすべての人が接種対象としています。特に高齢者など重症化リスクの高い人への接種をすすめていて、若い人も接種できるとしています。

接種に使われるのは、現在主流となっているオミクロン株の派生型「XBB.1.5」に対応した一価ワクチンです。接種期間は9月20日から来年3月31日にかけてです。今年度までは全額公費で負担する「特例臨時接種」があるため、自己負担なしで接種できます。

国が接種を呼びかける背景にあるのが、「第9波」もささやかれる夏以降の感染再拡大です。全国の定点あたりの感染者数は、8月上旬は14.16人でしたが、3週連続で増加していて、9月第2週には20.50人となりました。夏休みが終わり、新学期が始まりますと、熊本県内では新型コロナウイルスは直近1週間で1488人の感染が報告され、2週連続で増加しました。熊本県によりますと、9月10日までの1週間に県内の医療機関から報告された新型コロナの感染者数は前の週から70人増えて1488人となり、2週連続で増えています。また、インフルエンザも451人で、前の週から2倍以上増加しています。(前週比2.22倍)県は「新型コロナの感染対策はインフルエンザの予防にも有効なので、基本的な対策を心がけてほしい」と呼びかけています。

コロナワクチンの接種は、本人が希望し、同意することが前提となります。国は、感染予防効果と副反応のリスクを踏まえ、判断してほしいとしています。

特定医療法人
成仁会
理念

医療・介護・福祉の分野において、人と人とのつながりを大切にし、地域社会の健全な発展に貢献できる病院・施設を目指します。

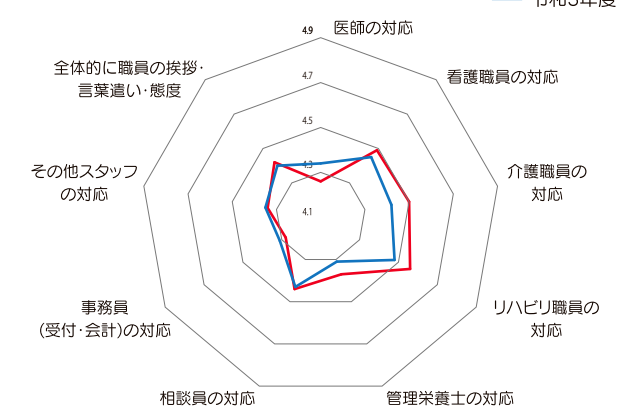
特定医療法人
成仁会
基本方針

- 1 患者様・利用者様の権利と意思を尊重し、満足のいく信頼と安心できる医療・介護サービスを提供します。
- 2 地域の医療・介護・福祉事業の中核となり、地域社会の向上に努めます。
- 3 安定した経営基盤を確立し、誇りとやりがいを持って働くことのできる病院・施設を目指します。

令和4年度 入院患者様 退院時アンケート報告

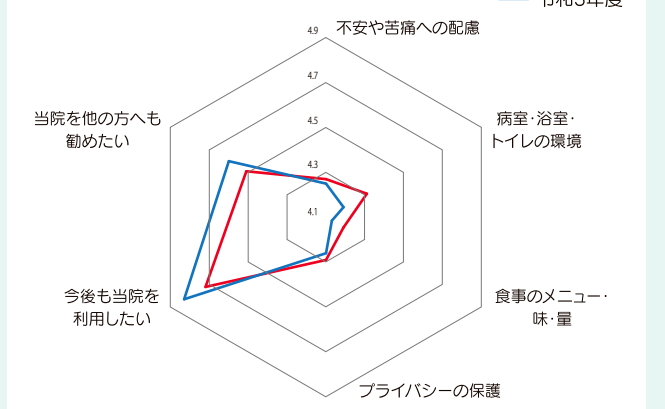
・令和4年度退院患者総数:595名中 アンケート対象患者数:462名 アンケート回収総数:362名
アンケート回収率:78.4% (対前年度比 +7.5%)

職員の対応について



職員の接遇面や専門職としての対応についての平均値は、**4.41Pt**で、前年度の平均値4.39より0.02Ptの上昇がみられた。特に管理栄養士・リハビリ職員・介護職員の評価が前年度より向上しているのが見て取れる。一方で、医師の対応と事務員(受付・会計)の対応については前年度よりも評価が下がっており、アンケートの中のコメント記載のある評価などから、具体的に要因を分析していく事が望まれる。

病棟の療養環境について



療養環境についての平均値は、**4.38Pt**。前年度平均値と同数値の結果となったが、内訳を見てみると昨年度評価の低かった病室・トイレの環境面や食事のメニュー・味についての2項目は、それぞれの部署の取り組み等もあり改善が見られた結果となった。一方で、前年度特に評価の高かった「他の方に当院を勧めたい」と「今後も当院を利用したい」の2項目については評価を下げる結果となった。療養環境については、職員の接遇面や対応と比較すると全体的な平均値は低く、環境面やプライバシーの保護など特にハード面についての評価が低い事が見て取れる。しかしながら、この2項目が先の評価を下げた要因につながったのかは今後、より細かい分析が必要と考える。

長嶺中学校 2年生 ナイストライ (職場体験)

9月12日~13日に職場体験のため長嶺中学校の2年生が8名来院されました。病院における様々な仕事を体験し、真剣に取り組む姿が印象的でした。将来医療業界を選んで働いてくれることを願っています。



看護体験



介護体験



患者体験



リハビリ体験

これからの世界を、 よりよくするのは 「あなた」です。

『私たちは、SDGs活動 に取り組んでいます!!』



チーム名
チームCLT
(検査科)



- 目標**
- 1 使用していない部屋の電気を消す
 - 2 使用頻度の少ない機器(立ち上がり時間に要しない機器)の電源を切る



チーム名
ペーパー戦隊お紙さん
リターンズ(栄養科)



- 目標**
- 1 紙の使用量を減らす
 - 2 森林資源の減少を阻止(森林)



チーム名
薬剤科



- 目標**
- 1 外来患者の残薬調整に努め使われずに廃棄される薬を減らす
 - 2 マイバッグの推進を図り、投薬時のビニール袋を削減する



チーム名
ダイケア成仁



- 目標**
- 1 節水
 - 2 節電
 - 3 紙の無駄をなくす



チーム名
ソーシャル★
エボリューション
(地域医療連携室)



- 目標**
- 1 不要な食材・食品・衣類等を持ち寄り、必要な方に提供する
 - 2 地域住民の健康意識の向上及び増進を図る



チーム名
健康管理で
good job
(居宅)



- 目標**
- 1 各自の体調管理で目標数値を達成し健康を維持する
 - 2 無理のない仕事スケジュール管理でメンタルヘルスにつとめる



チーム名
チーム KENSHIN
(健診科)



- 目標**
- 1 ペットボトルのキャップを集める
 - 2 使用済み切手を集める
 - 3 プルタブを集める



チーム名
チーム リハビリ
(リハビリ部)



- 目標**
- 1 フードドライブの実施
 - 2 残薬を減らす



チーム名
小さな積み重ね
(放射線科)



- 目標**
- =節電
 - 1 明るい時には電気を消す
 - 2 使用しない部屋の電気を消す



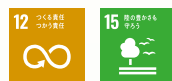
チーム名
地域を
きれいにし隊
(看護部)



- 目標**
- 1 ごみを減らしきれいな街をつくる
 - 2 環境汚染を減らす



チーム名
チーム 歯科
(歯科診療部)



- 目標**
- 1 グローブの使用量を減らし、無駄使いを防ぐ
 - 2 森林資源の減少を阻止(天然ゴム)



チーム名
事務部 SDGs係
(事務部)



- 目標**
- 1 ペットボトルキャップ・古切手を廃棄されないように回収(ワクチン募金へ)
 - 2 保育園内菜園



チーム名
地域包括支援センター
ささえりあ



- 目標**
- 圏域の地域住民へ『くまもとメディカルネットワーク(KMN)』の啓発・普及を行う

健康教室(出前教室)3年ぶりの開催!!

6月29日に託麻スポーツセンターで出前講座を開催し、22名の方のご参加を頂きました。上原院長による「アクティブな高齢者をめざして」と理学療法士による「ストレッチングとセラバンド運動」を行い、みなさんと一緒に心地よい汗を流しました。これからも定期的に教室を開催しますので、みなさまのお越しをお待ちしています。12月には、栄養に関する教室を開催予定ですので、ご興味のある方は、是非ご参加ください。



上原院長による講話



ストレッチング

～糖尿病専門部会より～

当院は糖尿病専門医である院長を筆頭に糖尿病療養指導士の資格をもつスタッフが多数在籍する糖尿病専門の施設です。患者会「糖島会」、糖尿病専門部会を有しており、専門部会では1階フロアで公開講義などの活動を行っていましたが、この数年は感染症拡大により紙面による情報発信のみになっていました。

しかし今年から県内でも糖尿病に関する活動が少しずつ動きはじめ、まずは11月14日 世界糖尿病デーに向けて、様々なイベントが開催されます。11月14日は糖尿病のシンボルカラーであるブルーに熊本城及び SAKURAMACHI Kumamoto、天草キリシタン館 (17:00～23:00)がライトアップされます。当院待合フロアもブルーに飾りつけし、糖尿病クイズなどを開催します!

また11月12日 イオンモール熊本にて血糖測定会、10月15日 熊本動植物園にて糖尿病ウォークラリーが開催され、当院スタッフも参加予定です。ご興味のある方はぜひ、足を運んでみてくださいね。



糖尿病発症・重症化予防対策支援事業より



以前のウォークラリーの様子

びたみん通信

VOL. 29

☆10月20日は世界骨粗鬆症デー☆

世界骨粗鬆症デーにちなんで、今回は骨と栄養のお話を…
硬組織といわれる骨や歯には全身の99%以上のカルシウムを有しており、カルシウムの貯蔵庫となっています。そのため、カルシウムが欠乏した食事をしてしまうとカルシウム欠乏症は発生しません。しかし、慢性的なカルシウム欠乏が長期に渡ると骨粗鬆症になり、骨がもろくなり、骨折を起こしやすくなります。



骨を強くするための栄養素

カルシウム(骨の主成分)



ビタミンD(カルシウムの吸収を高める)



ビタミンC(骨の土台のコラーゲンをつくる)



ビタミンK(骨の形成を促進)



SDGs活動本格始動!

成仁会職員全員で始めたSDGs活動が病院から地域に広がっています。

取り組み内容は、日常生活で、すぐに取り組むことのできる「節電・節水」をはじめ、業務で使用しているプラスチックグローブやコピー用紙の削減、ペットボトルキャップの回収などを始めています。また、病院周辺の町内清掃活動への参加、当院の災害備蓄食や大津町にある八百屋さん(尙横田食品様)からも野菜などの食材をご提供いただき、同校区内の「地域食堂」にて活用する取り組みなど、院内の活動に留まることなく、当法人の基本理念でもある「地域貢献」にも発展した活動となっています。これからも、成仁会職員一人一人がそれぞれの目標を持って2030年まで取り組みを進めていきます。

皆さんと一緒に「自分なりのSDGs」始めてみませんか?



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

薬のよかハナシ vol. 14

「保湿剤」正しく使っていますか?

手荒れや肌トラブルが気になりだす季節です。空気の乾燥に加え、最近は感染症対策として手指のアルコール消毒を行う機会も増えています。皮膚が乾燥すると、水分の蒸発や外からの刺激を防ぐ皮膚のバリア機能が低下して、刺激に敏感になります。そのため、ひどくなると衣服が擦れるなどの弱い刺激でもかゆみを感じるようになります。乾燥肌が原因のかゆみには、「保湿剤」によるスキンケアが大切です。保湿剤は、皮膚の水分が逃げないように「ふた」をしたり、皮膚に水分を与える役割を持っています。正しく塗って皮膚をしっかり守りましょう。

代表的な保湿剤として、「ヘパリン類似物質」を配合した薬剤があります。病院で処方されることもありますが、同じ成分濃度(0.3%)のものが市販薬としても広く流通(例:ヒルドイド®)しています。使用量の目安は、軟膏やクリームでは、人差し指の先端から第1関節まで伸ばした量です。この量で、手のひらの面積約2枚分に塗ることが出来ますので、塗る場所に依りて適宜調整します。手を清潔にして、保湿剤を取ったら、手のひらを使って、こすらずに優しく塗り広げます。皮膚が水分を吸収している入浴直後に塗るのが効果的です。肌がテカるくらいが目安です。

保湿剤には、クリームやローション、軟膏など、有効成分は同じでもベースが異なるものが存在します。保湿剤によるスキンケアは季節に関係なく、年間を通じて続けることが大切ですので、夏はさっぱりとした使用感の良いもの(主にローション)、冬は皮膚を覆う効果に優れたものを選択するなど、季節ごとに使用する種類を変えるのも良いでしょう。

